

自転車転倒事故の教訓

- ・止まってくれる**だろう**
- ・これくらい大丈夫**だろう**

※自分の感覚で、第三者が同じ行動を起こすとは限らない。

どこを行けばいいのかわからない？

止まって、と言ったのに！

この程度の段差で転ばないよな。

痛てて...
なんでこんなところに段差が

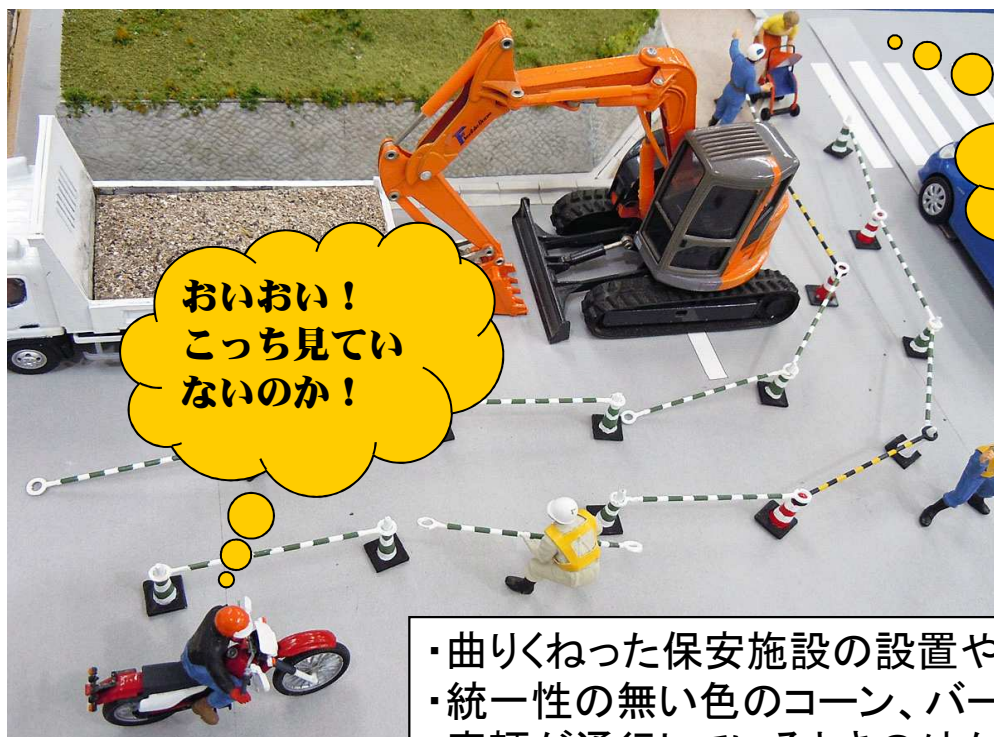
高齢者、子供、しょうがい者に対する注意及び指示は、一般者以上の配慮が必要です。(傷病者の松葉杖も含め)

※ほんの少しの段差でも転倒する可能性が高い

- ・自転車は、段差の前で「**段差がありますので、足元に気をつけて ください**」と声を掛けて、降りてもらおう

安心感が素直に指示に従うことになる

かも



おいおい！
こっち見てい
ないのか！

不安...
指示に従って
大丈夫？

- ・曲りくねった保安施設の設置やバーが外れたまま
- ・統一性の無い色のコーン、バーの使用
- ・車輛が通行しているときの外からのやりかえ
- ・ベビーカーが通れないような狭い歩行者通路



これなら安心
大丈夫ね

交通誘導員の明確な指示(お願い)もさることながら、まず見た目で安心感を持たせることが大事。

- ・コーンやバーの色は可能な限り統一する。(区画ごとでも)
- ・ジグザクな設置は×、見た目真っ直ぐに。
- ・歩行者通路を設ける場合は、ベビーカーや車いすの幅、すれ違いも考慮する。

